



わかくさ抄

パソコン教室の紹介

第3部会担当の委託事業の中には「業務に役立つ」事を主目的とするものもありますが、大半のパソコン教室では「パソコンを楽しむ」事を念頭に実施しています。奈良県内の某市の広報誌にe-AAC執筆の記事を8月号から丸々1頁分掲載させて戴いています。この会報発行とほぼ同時期の10月号にも「パソコンライフの楽しみ方」を掲載しましたので掲載分の一部を下記に流用いたします。



第3部会長
吉田 新樹

今回は、楽しみ方の紹介です。パソコン教室で、マウスの基本から始めると、「目から鱗」状態という感想を持たれる方が多いです。教室では一体何をやっているのでしょうか。こんな疑問をお持ちの方も多いでしょう。私達は、奈良県内で年間200回以上の教室を開催しています。開催場所は、10ヶ所程度になりますが、初心者コースでは、8～12回をシリーズとしてパソコン全般の機能に接してもらうように講習内容を工夫しています。マウスの使い方に始まり、文字の入力などの基礎内容は、理解できるまで繰り返し操作してもらいます。教室と言っても講師が一方的に話すことはしません。複数人のサポーターが受講者の傍にいて、分からないところを補助します。1回の講習は、2.5～3時間程度ですが、習得したことの大半を忘れてしまうと言われる方も多です。10の内の2～3でも覚えておいていただければ十分です。毎回2～3割の理解でも、10回も重なっていくことで、知らないうちに身につっていくものです。「好きこそ物の上手なれ」という諺がありますが、パソコン教室に通われている実例を紹介しましょう。

実例1

旅行と写真の好きな方が、海外へ行かれた思い出を友人にお裾

分けをしたいとの思いから、アルバム集を作ることにしました。教室では、文章の中に写真の挿入、表の中に写真を一覧化する手法を習っていました。何回か、作成する方法の相談に乗っていたのですが、旅行から帰国してから暫くして、持参された。アルバム集を見てびっくりです。写真を表の中に、配置して縦置き、横置き、2倍寸・4倍寸など自在に操っての制作成果にただただ感心するのみ。アルバムを作る方法で、疑問点が出ると、何回か、疑問を解消するための相談には乗りましたが、ほぼ自力で作上げられました。

実例2

旅行の思い出をムービー仕立てにして、友人にDVDを配布したい方がいました。デジカメ写真をムービー仕様にすることは、2～3時間の講習でも十分にできるようになります。動画風に、自分の好きな音楽を雰囲気に合わせて追加するなど、少しお手伝いをしましたが、選曲、タイミングなどプロ顔負けです。DVDのラベル印刷も写真とキャッチをつけるなど、店頭と並べても遜色のない完成度です。この方々は決してパソコンに精通している訳ではありません。写真のあり場所が分からなくなったとか、この字体を変更するのはどうしたらよいですかの質問を今でも普通に受けています。しかし、アルバム、DVDを作成したいという思いが、パソコンを上手に使いこなしたということです。「好きこそ物の上手なれ」の典型例です。パソコン教室に通って来られる方の多くは、「分からないことが何なのか分からない」と、よく言われます。知らないことが多すぎたの発言でしょう。しかし、目標を決めてみると、分からない事が明確になり質問も具体的になります。旅行記を配布しよう。孫と遊んだ記録をムービーにしてDVDを送ってみたい。家計簿をパソコンで入力してみよう。目標を立てることで、パソコンを使うことが明確化されます。好きなものを活かす手段としてパソコンを使ってみることをお勧めしています。

今月のトピックス！

『ICT（デジタル）教育研究会』の活動

ICTの普及は、学校教育のあり方を大きく変化させています。子供達のICT活用能力を高める取り組みが始まっています。e-AACでは、奈良市教育委員会及びシャープ(株)のご協力を得て、奈良市立佐保台小学校を「モデル校」としてデジタル教育の研究を開始しました。

- モデル校として「奈良市立佐保台小学校」、対象は5年生に4テーマで体験学習
- シャープ(株)は、デジタル教育の研究とデジタル教材の提供、電子黒板1台、タブレット端末30台を貸出し
- e-AACはデジタル教育の研究とコンテンツ作成支援
- 活動期間：H26年9月～H27年3月



『橿原いきいきタブレット』に参画

平成26年度奈良県 Living Science 研究開発・実証事業をシャープ(株)が受託、高齢者にタブレット端末を配って健康管理をする当実証実験に e-AAC が参加することになりました。

- 対象は橿原市在住の高齢者 200名～210名
- e-AACの業務は高齢者向けタブレット研修会の支援
- 活動期間：H26年9月26日～H27年3月末

『H26年度奈良県地域貢献活動助成事業』の採択

「ビッグデータ、オープンデータの活用による観光事業の活性化」セミナーが、奈良県の地域貢献活動助成事業に採択されました。

- 実施日：9月20日、27日、10月5日
- 会場：奈良県立大学

『子どもゆめ基金（国立青少年教育振興機構）』に採択

この機構は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を進めるため、科学実験教室などの体験活動を支援しています。e-AACが、申請していたテーマ「親子で学ぶパソコン機能」が採択されました。

- テーマ：親子で学ぶパソコン機能(分解して機能を学ぶ)
- 実施場所：興東里山祭り、宇陀市伊那佐郵便
- 対象：地域の子どもと大人、親子の絆体験教室
- 実施時期：平成26年11月1日、及び24日

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

第1部会では自治体会員を定期的に訪問して、行政の情報化支援を行っています。

1. 自治体への『ちょっとアドバイス』

(1) 自治体 IT 巡回サービスの実施

- ◎ 天理市
- ◎ 葛城市
- ◎ 大和郡山市
- ◎ 奈良市
- ◎ 大和高田市

(2) テーマ

- マイナンバーシステムの業者見積の評価方法
- 2015年のIT業界の問題
- 中堅・中小企業の深刻度をまず技術者の不足
- 自治体にいまだ残るXP パソコン
- ホームページの見直し

「セキュリティポリシーの見直し」について、自治体に提案を行っています。今後、予算及びマイナンバーとの関連があり、推進状況等を考慮の上、検討を行います。

(3) 市民サービス

『ちょっとアドバイス』活動の中で、行政システムの他に ICT による市民サービスに関する話題が増えてきています。大和高田市では、近鉄高田市駅近くのサティアーの跡地に市民交流センターを平成 28 年 4 月に開設予定しています。役所の窓口を設置することになっていますが、その他のサービス(市民交流)内容についてアイデアを求められています。

平成 26 年 4 月～9 月実績 (実施回数:17 回)

H26/4	H26/5	H26/6	H26/7	H26/8	H26/9
3 回	3 回	2 回	4 回	2 回	3 回

2. NPO 中間支援活動組織

e-AAC は、奈良県の中間支援組織活動のメンバーとして、今年度の県が主催する「協働推進セミナー」の企画立案に参画しました。

(1) 「協働推進セミナー」の企画立案

- 北部地域:10 月 23 日 13:30～17:00 奈良県中小企業会館
- 南部地域:10 月 28 日 13:30～17:00 橿原万葉ホール

(2) 内容

- ① 講義:奈良県協働推進課
- ② 事例発表(3 例)
- ③ ワークショップ:地域の課題について

3. 大和高田市の「広報誌」に、e-AAC の頁を開設

大和高田市への『ちょっとアドバイス』活動のなかで、市民の情報リテラシー向上のため、ICT の市民向け講座の要

請がありました。広報誌(しみんだより)に、8月号より連載することになりました。各部会の協力を得て、各部会活動の中で市民に関心の強いテーマを選んで、出来るだけ長期にわたって投稿していきます。

テーマ

- 8月号:ネット被害から子どもを守る活動
- 9月号:パソコンライフを楽しむ
- 10月号:パソコンライフを楽しむ

3. ネット社会に対応したライフスタイルの変化

- 速すぎる技術の進歩によって
⇒世代間の情報格差の拡大
- ネット・タブレット時代になり
⇒子どもは、学校でデジタル教育の実施
高齢者は、健康管理、ヘルスケアに活用
- モラル教育が必要
⇒ICT の負の側面の対策を実施

ICT は子供から高齢者まで、教育や生活の質の向上に寄与する一方、子供達には学校間や家庭環境による情報格差も拡大してきています。学校教育における情報化支援の必要性が増大し、また高齢者の「ICT ヘルスケア」のサービスの実証実験が始まっています。自治体は市民サービスの取り組みにおいて、ICT の活用が不可欠になってきています。e-AAC は、その支援を行なっています。



8/21 王寺町 AGE65 未病倶楽部
「タブレット研修会」
(ICT ヘルスケア実証実験)



9/16 興東小学校 5 年生
「パワーポイントで報告書作成」
(学校教育の情報化支援)

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

■ 学校情報化支援への取組みについて

文科省の思いと学校の実態は大きな溝があり、ICT 授業環境のインフラ整備が大きく遅れている現状です。e-AAC として少しでも力になれば「学校教育情報化」支援に向けて前向きに取り組んでいます。

■ 平成 26 年度上期「学校 ICT 支援」について

H26/9 月まで学校 ICT 支援を 72 回実施しました。

実施校：佐保台小学校、西大寺北小学校、伏見小学校、平城小学校、興東小学校、柳本小学校

(実施月)	4	5	6	7	8	9	
デジタル研究会	4	2	2	2	2	3	15
スマホ・ケータイ講習		2	16	16	7	3	44
パソコン分解							0
プログラミング						1	1
授業支援		2	8	0	0	2	12
計	4	6	26	18	9	9	72

【H26 年上期実績 *スマホ・ケータイ啓発出前講習は除く】

■ スマホ・ケータイ啓発出前講習

「ネット被害から子どもを守る」啓発出前講習を奈良県コンソーシアムと奈良県遊技協同組合からの支援を受けて実施しています。

【26年5月～7/3月実績】

月/日	実施校	月/日	実施校
1 5/8	生駒高校	11 6/18	天理中
2 5/28	奈良情報商業高	12 6/18	平城高校
3 6/2	生駒市	13 6/19	鹿ノ台小
4 6/5	大和高田磐園小	14 6/23	高田商業
5 6/10	片桐西小	15 6/24	真美ヶ丘中
6 6/11	広陵中学	16 6/25	王寺工業
7 6/13	室生中	17 6/26	三郷町教委会
8 6/15	下田小	18 6/27	中和教育研究会
9 6/17	飛鳥学院	19 7/1	畝傍東小
10 6/17	柳本小	20 7/3	橿原高校

【26年7/4～9/19月実績】

月/日	実施校	月/日	実施校
1 7/4	奈良育英高	11 7/18	五條高賀名生分
2 7/6	レッツ学習塾	12 7/18	郡山中
3 7/8	田原本中	13 7/30	伏見小
4 7/10	橿原高	14 8/1	都跡中
5 7/11	郡山中	15 9/1	聖心学園中等教
6 7/14	式下中	16 8/21	伏見南小
7 7/14	生駒大瀬中	17 8/22	高田市広報課
8 7/15	平城小	18 8/26	二階堂小
9 7/16	生駒中	19 8/28	上牧第2小
10 7/16	新庄中	20 9/18	大淀希望ヶ丘小
		21 9/19	西大寺北小

【26年10月～27/3月実績】

月/日	実施校	月/日	実施校
1 10/7	興東小	11 12/2	鼓阪小
2 10/16	矢田小	12 12/4	生駒小育友会
3 10/18	生駒北中	13 12/5	宇陀院原東小
4 10/25	安堵中	14 12/17	天理高2部
5 10/30	教育大附中	15 1/16	下市中
6 11/1	高田小	16 1/22	生駒儀口小
7 11/7	香芝西中	以下は別枠として実施	
8 11/15	朱雀小	7/27	大宮地区福祉協議会
9 11/18	大安寺西小	8/7	奈良県:人権講座
10 11/28	香芝関屋小	8/20	ネット安心安全フォーラム

■ 奈良市教育委員会「26年度教職員研修」実施

H26 7/29	自由課題 : ワード基礎・画像・エクセル・パワーポイント
H26 8/20	自由課題 : 電子黒板・エクセル・パワーポイント

*H27 年度も実施予定

■ デジタル研究会

「電子黒板&タブレット」授業を佐保台小で実施します。シャープ(株)と5年生を担当されている先生の全面的な協力を得て、理科・社会・算数、の授業において実施するものです。子どもの集中力、理解力を高めるインタラクティブな授業を目指します。

佐保台小5年「タブレット&電子黒板」授業		
10月	理科の授業	流れる川の働き
11月	社会の授業	私たちの暮らしと工業生産
12月	算数の授業	四角形と三角形の面積
1月	校内発表	委員会活動発表
2月	クラブ活動	パソコン分解、主要部品画像の発表
3月		

■ 「子ども夢基金」助成事業

興東里山祭り「親子の絆体験教室」パソコン初心者コース

親子で学ぶ パソコン機能[分解して機能を学ぶ]

パソコンに興味ある！パソコンの中を見てみたい！
子どもさんだけでも是非参加してください。

場所：興東中学校 興東「里山祭り」イベント会場
日時：11月1日(土) 体験授業 11:00～12:30
募集対象/人数：子ども10人、大人10人
参加費：無料
主催団体：電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)
講師：e-AAC 大洞 好生

参加お申込み・お問い合わせ先：
NPO 法人 電子自治体アドバイザークラブ
奈良市大宮町7丁目2番23号 三和佐保川ビル4F406号
Tel/Fax: 0742-36-8520 e-Mail: e-aac@kcn.jp

興東里山祭り

整理番号 1422474

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

■ 「ドコモ市民活「こども分野」助成事業

I. 「スマホ・ケータイとモラル」啓発出前

計画	H26 /12	H27 /1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
啓発出前講座	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
回数:15回	前期:3回/月×4ヶ月=12回						後期:前期残り3回を予定					

II. 発達障害のある子ども向け「パソコン教室」

計画	H26 /12	H27 /1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
特別学級授業	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
回数:6回	●	●	●			●	●					

「第3部会」からの報告 パソコン研修

奈良県「Living Science 補助金交付事業」に、シャープ株式会社「樫原いきいきタブレット」が採択され、その協力先として e-AAC が選定されました。2014 年 9 月 26 日から 2015 年 3 月 31 日までの事業展開で、中和地区から 5 人ほどの新会員も迎えて対応します。

■ 受託『パソコン教室』の実績 (H25/9～H26/3)

1. 奈良市教育委員会(第2部会にての対応)

- Word・Excel・PowerPoint、電子黒板

2. 奈良県市町村職員パソコン研修

- アクセス基礎、エクセル応用の受講希望が多いことを加味して、昨年から2コース(4日間)追加
- パソコン環境は、市町村職場の状況を考慮して、Windows7+Microsoft Office2013

アクセス基礎	9/9～10&9/16～17の 2コース	定員 30名
アクセス応用	9/22・24の 1コース	定員 30名
エクセル応用	9/11～12&9/18～19の 2コース	定員 30名
パワーポイント基礎	9/25・26の 1コース	定員 30名

エクセル応用の募集で、Excel を使用した経験者に限定していたものの、Excel 初心者が各コースに数名参加し、サポートがほぼ1:1対応に専念することになりました。エクセル応用というコースを理解頂く文言に変更が必要。あるいは、Excel 基礎コースも必要な時期にあるのかも知れません。アクセス応用と、パワーポイント基礎の2コースは、昨年同様に定員割れの状況です。例年は、9月の12日間で終了するが、今年度は2月にも、アクセス基礎とExcel 応用を追加実施する予定。来年度は、日程変更の可能性あります。

3. 橿原市耳成地区公民館パソコン教室

4～8月 第2、第4土曜日	9:30～12:00	パソコン入門講座
	13:00～15:30	何でも相談

耳成地区公民館の協力が大きく、今回も定員の受講者で、8シリーズの講座を実施しました。

4. 天理市パソコン教室

天理市では、公民館を一巡するパソコン教室を開催しており、定員25名の募集に対して、今回も80人近い応募者から抽選にて、受講者を選定。7月4日から8月29日までの短期間に6回のパソコン入門講座を東部公民館にて実施しました。受講者には、本教室が好評で、連続落選者への対応が望まれています。

5. NTT 電友会パソコン教室

耳成地区公民館にて実施。午前中は、パソコン教室。午後から、電友会対応としては初めて「何でも相談」を実施したところ、非常に好評でした。特別コースとして、大安寺にてインターネット1日、Facebook2日コースを実施。電友会奈良支部関係者の会員勧誘の協力で受講者を確保していますが、毎回募集が厳しくなっている状況ではありません。

6. まほろばソムリエの会パソコン教室

プレゼンテーション技術習得のためのパソコン教室を6～9月に大宮事務所にて全10回開催。PowerPoint使用してのプレゼンテーションを実施するためのパソコン入門講座から実施しています。PowerPoint講習については、9月の2日間以外にも11月に追加講座を実施します。

■ e-AAC 主催『パソコン教室』

平成26年度から、「何でも相談」の価格改定とテキスト費用の受講者負担を実施。各教室共に、受講者確保が課題になっています。

1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所

- 土曜パソコン教室(パソコン初心者向)第1、3土曜日
- パソコン入門、ワード、エクセル、デジカメ、インターネット、その他、「何でも相談」実施
- 月曜から金曜日まで 延べ82名

2. 「何でも相談」「訪問ヘルプ」

月曜から金曜日まで、大宮事務所での「何でも相談」、「自宅訪問ヘルプ」も開始しています。XP、Vista、Windows8などの相談事が多くなっています。

3. 高田教室: 中和労働会館(水曜日)

- パソコン教室(パソコン初心者向け)1,3水曜日
- パソコン入門、ワード・エクセル・デジカメ、インターネット
- 「何でも相談」(パソコン教室開催の午後実施)

4. 学園前教室

- 開催場所を西部公民館、大和文華館に変更
- パソコン教室(毎木曜日午後)
- パソコン基本操作、ワード、エクセル、写真自由自在、その他

5. 伊那佐教室: 宇陀市 伊那佐郵人(月曜日)

- パソコン教室: 6～9月に7回開催

■ e-AAC 事務所パソコン教室設備の活用

『ナビの会』、『まほろば8』、『フェニックス大学』、他、e-AAC以外のパソコン教室として「大宮事務所内パソコン教室設備」を使用戴き、設備の有効活用に努めています。

「第4部会」からの報告

e-AAC
ワークショップ

セミナー開催



ビッグデータ・オープンデータの活用による観光事業の活性化

平成 26 年 9 月 20 日、27、10 月 5 日 の 3 回シリーズ
於：奈良県立大学

『地域データ分析活用講座』
『ビッグデータ、オープンデータの
活用による観光事業の活性化』
セミナーを開催

情報技術(ICT)の進展により生成・収集・蓄積等が可能・容易になる多種・多量のデータ(ビッグデータ)や、国、自治体、行政法人、公益事業者が保有する公共データ(オープンデータ)の活用により新しいビジネス創出のきっかけやサービスが期待されている。その活用についての現状、メリットや課題などを体系的に、具体的に、また先進自治体の事例や、企業のソリューションビジネスを 9 名の講師により1回 3 人ずつの 3 回シリーズで講演頂き、広く観光事業の活性化を目指します。また、本セミナーは「奈良県地域貢献活動助成事業」として奈良市総務部情報政策課の事業協力を得て実施しています。

▶ 第 1 回 (9 月 20 日)

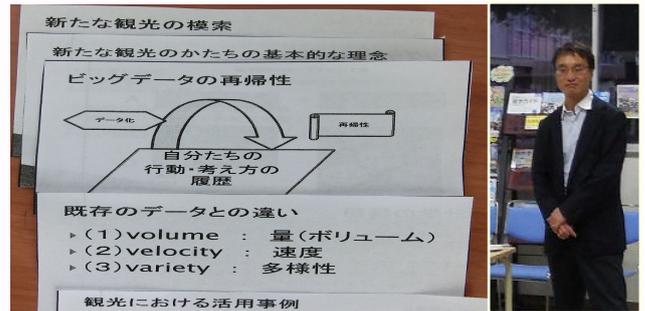
1. 基調講演「ICT活用と自治体経営」
奈良市 市長 仲川げん 氏
2. 「新しい観光の形と観光統計データの活用」
立命館大学 文学部 教授 遠藤英樹 氏
3. 「情報メディアを活用した観光情報提供のあり方
～明日香村を事例として～」
奈良県立大学 地域創造学部 教授 麻生憲一 氏

◎ 仲川市長から地域情報化に係る施策やビッグデータ・オープンデータの取り組み等を詳しくまた、奈良の観光の実態や施策を説明された。



【仲川げん 市長の基調講演】

◎ 遠藤先生の講演では新たな観光、ビッグデータの再帰性、を理論的に、城崎温泉の事例を詳しく説明いただいた。



【遠藤秀樹 教授の講演】

◎ 麻生先生の講演では明日香村の観光情報提供の具体例、4 例について実演された。特に パーチャル飛鳥京を iPad-mini を実際に受講者に貸出され、操作して体験できた。



【麻生憲一 教授の講演】

▶ 第 2 回 (9 月 27 日)

1. 「地(知)の拠点としての大学と地域を結ぶ
データベースのあり方とは？」
奈良県立大学 地域創造学部 講師 岡本健氏
2. 「観光経済の統計分析」
和歌山大学 観光経営学科准教授 大井達雄氏
3. 「オープンデータがもたらす新たな観光情報化モデル」
富士通(株)経営推進室シニアマネージャ 米田剛氏

▶ 第 3 回 (10 月 5 日)

1. 「日本経済の現状をとらえるデータの分析」
奈良県立大学 地域創造学部 准教授 斉藤宗之氏
2. 「明日香まるごと博物館づくり～EV 車導入と明日香の魅力～」
明日香村 村長 森川裕一氏
3. 「ビッグデータ・オープンデータの活用でどう変わるのか」
日本電信電話株式会社 研究企画部門 松浦由美子氏

■ 26年度下期 e-AAC ワークショップについて

次回の第16回 e-AAC ワークショップの開催を検討中です。募集開始いたしましたら多くの皆様にご参加いただけるようご協力をおねがいします。また、開催のテーマなど皆様の要望や意見がありましたら、事務局までご連絡ください。

事務局からの報告

～遊技業協同組合さまからご支援 いただいています～

e-AAC の活動に賛同して、ご支援を頂いています。e-AAC の賛助会員として、また、スマホ・ケータイ出前啓発講習会の活動にも多大の支援を頂きました。これからも、e-AAC は子供たちの健やかな成長を願って、積極的に取り組んで参ります。



e-AAC会員募集

- 正会員
- 個人会員
- 賛助会員
- 自治体会員

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。

特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思えます。

事務局までご連絡ください。

Tel: 0742-36-8520

e-mail: e-aac@nifty.com

～地域に貢献する市民活動へ 積極的に参加しました～



7月27日 大宮祭に参加(主催:大宮地区社会福祉協議会):大宮小学校にて行われた大宮祭に、e-AAC が初めて参加しました。



8月20日 奈良市民生委員・児童委員協議会に参加



8月1日「スマホとモラル」講演(佐紀公民館)

～e-AAC 第10回通常総会を開催しました～

通常総会 平成26年6月14日



記念講演会:講師 田澤由利氏
「在宅勤務が会社を救う」(東洋経済新報社)の著者



☆編集後記☆

第12号を発刊します。半期ごとに会報を発刊していますので、初刊より、はや6年近くが経過したことになります。その間、この仕事を通して、パソコンを中心としたICTの利活用の方は、それなりに向上したと自負しています。今後とも会員の皆様の活躍をわかりやすく、会報にて報告させていただきます。よろしくお祈りします。(M. Sato)

発行

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部
(ご連絡先) e-mail: e-aac@nifty.com
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/



南都銀行



協賛団体